

よこすかボランティアニュース

2024/05
210号

ボランティア「3つのあい」であいふれあい いたすけあい

NPO 法人神奈川フードバンク・プラス 食品ロスにおける「もったいない」を「ありがとう」に



令和6年3月20日(水)「NPO 法人神奈川フードバンク・プラス」(以下、「プラス」という)は、堀ノ内駅から徒歩5分の金堀トンネルの手前の道路沿いにあります。この団体は、平成29年にNPO 法人の認定を受け、令和2年から三春町5丁目に事務所を開設しました。プラスには、理事長の山田さんと地域住民、保護司、民生委員など20人のボランティアがいます。活動内容は、企業などから寄付された食品を公営住宅(かもめ団地、走水団地、津久井浜団地、市営金堀アパート)やコロナ禍による生活困窮世帯に無償で提供することです。

プラスでボランティア活動をしているお2人に話を聞きました。1人目のIさんは、奥様を亡くされたあと、包括支援センターでプラスを紹介され、理事長の山田さんの話を聞いて人間性に惚れ込み、活動を始めました。「今では活動が生きがいになっています」といきいきと活動されていました。2人目のSさんは、「皆さんがとても良くしてくれるので楽しい、元気なうちは続けたい」と話してくれました。

以前、コンビニエンスストアでアルバイトをしていた大学生が、夕方になると大量に捨てられるお弁当などを見て食品ロスに興味を持ちプラスに来ました。食品ロスをテーマに卒業論文を書き上げ、卒業後もその気持ちを持ち続けたまま地方の新聞記者として活躍しているそうです。また、小学生が夏休みの自由研究のためにプラスに話を聞きに来て、食品ロスについて発表したという話などを山田さんからうかがっている時にも、「プラスの活動を見学に行きたい」という連絡が事務所に来ていました。

当日、スタッフの皆さんが自主的に率先して仕分け作業をしたり、きびきびと立ち働く姿が印象的で、取材が終わった後はボランティアとしてビニール袋に物品を入れる作業を一緒に手伝いました。楽しい取材でした。(H・O)

【開所日】 毎週水・金曜日 9時～14時 電話 046-827-7050

第210号(令和6年5月発行)

※掲載内容へのお問合せ・お申込みはよこすかボランティアセンターへお願いいたします。

【編集・発行】 社会福祉法人 横須賀市社会福祉協議会 よこすかボランティアセンター

〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館2階 TEL:046-821-1303/FAX:046-824-8110 e-mail volucen@yokosuka-shakyo.or.jp



ボラセンHP

登録ボランティア団体紹介⑭ 横須賀市点訳奉仕会

昭和36年9月、横須賀市主催の点字講習会を終了した13名の主婦が、横須賀市点訳奉仕会を結成し、以来、視覚障害者の方とともに歩みを続けてきました。昭和40年に、横須賀市点字図書館が設置され、以降は、図書館の蔵書の点訳を主な活動としています。

現在は、会員も100名を超え、蔵書点訳以外に、英語点訳、楽譜点訳を行う部会活動や、触る地図・漢字・絵本作りを行うグループ、発泡インク印刷をした視覚障害者の方がイラストを触って楽しむカレンダーなどを製作するグループもあります。点字を知らなくても出来る活動もあるのでぜひ参加してみませんか。入会をお待ちしています。ボランティアセンターの依頼を受け、小・中学校の総合的な学習の時間では、点字体験の講師を派遣しています。授業の最後、発泡インク印刷の「しおり」に自分の名前を点字で打つのですが、これが大変好評です。子どもたちが、点字に関心を持ってくれると大変嬉しいです。これからも、視覚障害者の方とともに歩み続けてまいりますのでよろしくお願いいたします。



発泡インクを使ったカレンダー作り



手で触って覚える漢字の書き順表



触って楽しめる絵本



点字図書館の本棚

発泡インクを使ったカレンダーやポストカードは、県内の盲学校、特別支援学校や点字図書館に毎年送っているそうです。触って楽しめる絵本や地図の製作は素材選びから始まりまるそうです。卵の殻の部分はザラザラ、トマトはツルツルなど、触り心地に細かく工夫がされていて文字どおり触って楽しむことができます。みなさんが製作した作品は総合福祉会館4階の点字図書館にあります。どちらの作業も1つ1つ手作りで行われ、作業をしているボランティアのみなさんがとても楽しそうだったのも印象的でした。

横須賀市点訳奉仕会の活動にご興味をお持ちの方はボランティアセンターへお問い合わせください。

地区ボランティアセンター紹介① 『港南地区ボランティアセンター』



作業をする相談員



港南地区ボランティアセンター外観①



港南地区ボランティアセンター外観②



港南地区ボランティアセンター内

こんにちは、港南地区ボランティアセンターです。

当センターは、汐入駅より徒歩1分のところにあります。毎週、火曜日と金曜日の10時から15時まで、民生児童委員、社会福祉推進委員が開所、運営しています。

車いすの貸出や来所者、相談者のない時間には、在宅福祉部会が行っている配食サービス用の掛け紙の色塗りや介護施設・グループホームなどへタオルを使ったお口拭きを作り、届けています。ボランティア協力員による活動は、主にごみ出し、買い物代行などを行っています。

微力ながら地域の福祉活動に助力しています。

【港南地区ボランティアセンター】

横須賀市汐入町 2-33 電話 046-822-5294

ボランティアセンターの予約 貸出方法が新しくなります！

ボランティアセンターの活動室の予約や車いす、布おもちゃ・布えほんの貸出が社協ホームページからも行えるようになる予定です。

開始時期や方法などの詳細については次回ボランティアニュース211号(令和6年8月号)で詳しくお伝えします。

予約方法が変わるもの(予定)

- 活動室
- 車いす
- 布おもちゃ・布絵本
- 高齢者疑似体験セット
- おもちゃの病院受け取り
- 各種相談予約



対話屋

みんなの居場所特集 ⑥



3月の第2日曜日、総合福祉会館の活動室で行われている「対話屋」にお邪魔させていただきました。

主宰しているのは以前横須賀市内の精神障害者向けのフリースペースで相談員の仕事をしていたケースワーカーの方です。フリースペースの仕事から離れる際に、「居場所って何だろう?」と考え出したことが活動を始めるきっかけだったそうです。

平成30年から始めている「対話屋」も、コロナ禍では集まることができない時期もありました。現在は、コロナ禍以前にあった対話のハードルを下げるためのお菓子も再開しています。

この日も数人の参加者とお菓子を食べながらの「言いつばなし、聞きつばなし」の対話が活動室に響いていました。「対話屋」が開いている時間ならば、出入りも自由にされていて、途中参加や途中退席も自由とのことでした。

この日は「対話屋」の常連だけでなく、初めての参加者の方もいました。主宰者の仕事柄、精神障害のある方の参加が多いようですが、どんな方でも参加可能です。「ここにもつながれない方とどうつながるか、つながれない方をどうすくい上げるか」と話されていたことが印象的でした。

「横須賀に人と人がつながり、会える場所が必要」と考えながら、活動を続けているそうです。人と人のつながりを深く考えて活動している姿には身が引き締まる思いがしました。

最近では隔月の第2日曜日の午後で開催しています。詳しい活動日の日時などはボランティアセンターにお問い合わせください。(Y・T)

ボランティア連絡協議会から

第44回総会開催のご報告

- 日時 令和6年4月6日(土) 13時～15時
 場所 総合福祉会館 5階視聴覚研修室
 議題 1. 令和5年度活動報告・決算書の採択
 2. 令和6年度休会について
 3. 令和6年度活動計画(案)及び予算(案)について採択

令和6年度総会では、役員改選が行われる予定でしたが、会則に定める役員候補者10名以上がそろわなかったことにより、令和6年度の活動を執行していただく役員の体制がとれないことから、休会の提案が出されました。その結果、令和6年度は休会とし、役員体制の確立に全力を尽くすことを確認しました。

休会の中のボランティア連絡協議会は、市社協預かりとし、役員候補者がそろった時点で、年間計画の実施できる活動から取り組んでいくことも併せて確認されました。



黒船ができました!



横須賀の四季折々の風景を楽しめる事務所内タペストリー (写真は春)



ペリー来航170周年記念する黒船バージョンの東京湾フェリー

布おもちゃグループポケットに製作を依頼し、事務所内タペストリーの船が新しく黒船になりました。

ぜひお立ち寄りいただきご覧ください。



ボランティアセンターからのお知らせ



能登半島地震

～石川県七尾市災害ボランティアセンターへ本会職員を派遣～

令和6年4月9日～4月15日に本会職員を派遣し、現地調査班としてボランティアを必要としている方々から現状を聞き、ボランティア派遣に繋げる活動を行いました。本会では今後も被災地へ職員の派遣を行っていく予定です。

ー派遣した職員ー

「実際に現地の倒壊家屋や隆起した道路、七尾市社協の方の実情を見聞きしながら活動する中で、改めて被害の大きさや深さを痛感しました。1日も早い復旧・復興を願っています」

やさしさ広がれふれあいフェスティバル 2024
「やさしさ届け！みんなの心に」

「あたたかい福祉のまちづくり」を目的に、子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も楽しめるイベントです。今年は総合福祉会館の7階まで拡大して開催する予定ですので皆さまぜひご来場ください。

日時 令和6年6月2日（日） 10時～15時

場所 総合福祉会館（本町2-1）正面玄関前・1階から7階（3階を除く）

内容 福祉に関する作品展示や即売会、体験、学び、各種相談、活動紹介等ブースの出演（予定）



ボランティアスキルアップ講座「予防救急について」



日時 令和6年6月20日（木） 14時～15時15分

場所 総合福祉会館4階 第1活動室

対象 登録ボランティアなど

内容 事故の予防方法や万が一の応急手当方法について学びます。

定員 15人 ※定員になり次第締切

申込方法 ボランティアセンター窓口、電話、メールで必要事項をお伝えください。

①講座名、②氏名、③フリガナ、④生年月日、⑤性別、⑥住所、⑦電話番号

申込期間 5月24日（金）～6月12日（水）

編集委員のコラム

「出雲大社」に初詣に行きませんか？と誘われて参加させていただきました。

最初は島根県の「出雲大社」のことだと思っていたら、神奈川県「出雲大社相模分祀」とのことでした。



「相模分祀」いわゆる関東の出雲さんと言われているそうです。本殿並びに拝殿も立派で、しめ縄も本社におとらず立派でびっくりしました。年明け早々地震や事故があり、1日も早く復興するように世界平和とともに念じて祈願してきました。場所は秦野市平沢です。秦野市と地名を聞くと、学童疎開で下級生のお世話が大変だった海老名市の近くの場所なので、その頃の思い出が浮かんできてしまいます。お寺の本堂にみんなで煎餅布団を敷いて寝るのですが、下級生は親が恋しくて泣くんです。トイレは外にあるのでついて行ったり。現在の日本の平和が羨ましい。

未来永劫平和が続くことを願うのみです。（K・I）

ボランティアセンターの
メールアドレスが新しくなりました。



volucen@yokosuka-shakyo.or.jp